

2023 年度 服飾奨学金事業

終了報告

2023年度服飾奨学生13名の受給期間終了に伴う報告をいたします。

1. 主な奨学金の使途（生活費、学費、教材費等）

・頂いた奨学金は後期では、授業での作品のベストやブラウスの生地や糸、芯地、ボタンなどの材料費として使わせて頂き、残りは食費や光熱費等の生活費に使わせて頂きました。課題以外にも 自身で買った挑戦してみたい生地での製作をし、知識と経験を得られたと思います。来年の前期の授業料の振込もあり負担が少なくすみましたありがとうございました。また、家にミシンがなく学校でしか課題を進められないため、来年度ミシンを買うための貯金にも回させて頂きました。縫う課題が多いためミシンを購入しより課題に取り組んでいきたいと考えています。

・頂いた奨学金の用途は、生地の購入をはじめ教材費など自身の経験値向上に役立つものと留学に 向けての費用として貯金もいたしました。初めの給付を受けて以降、これまでアルバイトに充てていた時間を服作りやポートフォリオ作りなどの制作時間などに充てられるようになりました。それが一番ありがたかった点です。以降、外部コンテストにも応募しやすい環境になり、コンテスト内容もしっかり考える時間ができました。するとコンテストにも入り、学校からはこれまでの活動が認められ海外の短期留学にも推薦していただき行くことができました。特に外部コンテストでは奨学金のおかげで収入への不安がなかったこともあり、アルバイトをしば らく休み、課題により集中して取り組むことができました。その結果、世界の舞台で優勝でき改めてファッションへの愛を感じる事ができました。

・親元を離れ、一人暮らしをしているため、家賃、水道光熱費、食費等の生活費を全て自分で支払っています。また、通学定期代のほか、在籍学科で購入必須とされていたパソコンのローンの支払い、Illustrator、Photoshop等のサブスクリプションの支払いも全て自分で支払っています。忙しい学業との両立で、アルバイトに割く時間も限られるため、生活に余裕がありません。奨学金を給付していただいたおかげで、学校生活や授業に専念することが出来ています。

・学費、ミシン台に使用済み

・いただいた奨学金は、主に学費や教材費、定期代、学校で使用する道具や布に使っております。特に学費に関しては母が私のために貯めてくれていたお金と日本学生支援機構の貸与の奨学金で支払わなければならなかったため、今回、日本へいわ財団様から奨学金の給付をしていただき本当に感謝しております。この奨学金が無ければかなり厳しい学校生活になっていたと思います。また、実習で使用する布は1年生の時はウールを使用するのですがスカートやワンピース、ジャケットを作るにあたり、かなりの量を使用するので費用もかかりましたがこの奨学金があった事で良い布を買うことが出来、自分の納得のいく作品を作ることが出来ました。ジャケットに関しては1年生の実習で最後に作った作品であり、自分でデザインを考えて作るオリジナルジャケットを作りました。私はあるブランドのメンズのジャケ

ットを参考にしてジャケットを作りました。アシンメトリーになっているデザインを考えたのでその分、時間や使用する布の量がとてもたくさんかかりましたが出来上がった物を提出すると友達や先生に褒めてもらえ、とても嬉しかったです。大変な事がたくさんありましたが挑戦して良かったと思いました。

他にも実習などで先生や先輩方が使われている道具を自分も使いたいと思い、服を作る上でとても役に立つ道具を買ったり、自宅から学校までかなり交通費がかかるのでその費用にあてたりといただいた奨学金を生活のいろいろな場面で使っております。本当にこの奨学金をいただけて感謝しています。本当にありがとうございます。

- ・学費や制作で使用する材料費、交通費や生活費などに使用しました。

- ・奨学金は制作費等にに使わせていただきました。私に通う学校は実技や制作が多く、アルバイトを沢山しながら制作をしていくと考えると不安でしたが、奨学金のお陰で制作費を気にすることなく、制作に 取り組みました。

- ・コンテストの制作費（生地、糸など）コンテストに向けて、素材研究をしました。

生活費（電車賃、食費など）インターンが始まり、学校以外にも電車を使うことが増え、インターン先に向かうまでの移動費に使用しました。

自主制作費展示会を開き、私は素材の開発発表をしました。

素材研究に出し惜しみ、お金の面を気にして研究の妨げる事なく力を注ぎ込みました。

- ・頂いた奨学金は、本校の文化服装学院の文化祭への旅費として使わせて頂きました。また、3年生になるための学費として貯金させていただいております。

奨学金のおかげでずっと行きたかった文化祭に行けてとても嬉しかったです。やっぱり本校なだけあって、今まで見たこともないようなアイデア・作品たちばかりでとても勉強になりました。文化祭から帰ったあと、いてもたってもいられず、デザイン画をたくさん描きました。楽しかった熱が全然冷めません。正直なところ、ファッションショーを見られたらそれで満足だったのですが、展示されている作品やポートフォリオを見て、自分のなかの常識が覆されました。自由な発想がいっぱい溢れていて、全部魅力的すぎる空間でした。

3年生になりたい理由が、1・2年生では学べない技術を学びたいという理由です。取り扱う生地も難しいもので、絶対に簡単にはいかないなので、より気張りたいと思います。縫う量も作品も多いですが、その分楽しみも多いです。

- ・奨学金は専門学校に通うための学費、教材費、交通費などに使用

- ・この度は奨学生として選出をしていただきありがとうございました。支給いただいた奨学金については学費や生活費で活用をさせていただいております。ご支援のおかげで現在も継続的な学びが来ています。本当にありがとうございます。

- ・1年生の1番大きな課題である学校のファッションショーに全力で取り組むことが出来ました。その他、課題や芸術鑑賞にも挑戦でき、充実した1年間になりました。

2. 主な進路で積極的に取り組むこと

・来年度は2年生になり1年生で学んだことを活かしながらより成長していき、良い作品が作れるように頑張っていきたいと思っています。今年度自分が苦手だと感じたことや上手くいかなかったことを来年度は綺麗な縫製ができるよう練習していきたいと思っています。編み物の授業をしていく上で興味を持ち始めたので来年度は編み物の検定にも挑戦しようと考えています。また、これからは就職活動が始まるので、早めに動き始め自分がどんな仕事をしたいのか考え動いて行きたいとおもいます。企業さんについてしっかり調べ自身が学んだことを行かせるような仕事に就きたいと考えています。経験を積みながら自分を磨き続ける働き方ができるように頑張りたいと思っています。習得した資格をいかし少しでも力になれるようにこれからも資格勉強を続けて行きたいです。

・外部コンテストでの優勝はこれまでの人生の中で一番大きい成果、経験となりそれを奨学金で支えて頂いたことはとても大きいです。その成果もあってか、現在の学校卒業後はイタリアのファッションスクールの推薦が取得できました。そこでもっとファッションと向き合いたくさんの作品を作っていきたいと思っています。何かに挑戦するときの不安を減らしてもらい勇気と希望、心の余裕を与えてくれた奨学金にとっても感謝しています。

・アパレル業界で営業職として就職が決まりました。

多くの営業経験を積み、顧客との円滑なコミュニケーションの取り方、信頼関係を築くテクニックを磨いていきます。顧客のニーズや好みを的確に理解し、最適な提案が出来るようになりたいと考えています。様々な会社、そこに関わる方々と接することでしか出来ない経験を通じて、ファッションの感度を高めていきたいと思っています。これにより、異なる視点からのアプローチやトレンドの理解が深まり、より幅広いスタイルの提案を可能としていきたいです。そして、これから出くわすであろうたくさんの壁にも怯むことなく挑戦し続け、成長していきたいです。己自身を高めながらファッション業界に貢献していくことが目標です。これから更にファッションの知識とスキルを向上させ、何事にも全力で取り組んでいきます。

・現在、就職活動に積極的に取り組んでおりますので、引き続き積極的に取り組みます。残り1年しかない学生生活ですので、一日一日を大切に学びあるものにしていきます。資格取得にも積極的に取り組んでいきたいと考えておりますので、精一杯頑張ります。

・4月からは2年生になり昨年と違って教えてもらって課題をこなすだけでなくその教えてもらった事を自分の頭で理解してこうすればもっと良くなる、これは前に習った事を応用すれば良いなど1つの方法だけでなく自分でいろいろな事に気づけるようになりたいと思っています。また、教えてもらった事だけを出来るようになるのではなく自分で調べていろいろな方法を見つけてそれを人に教えられるようになりたいと思っています。私は将来、パタンナーとしてファッション業界で働きたいと思っているのでその夢を叶えるためにパターン検定に挑戦したり、私が所属している学校にはパタンナーとして活躍されていた先生や現在もパタンナーとして活躍されている方がいらっしやるのでお話を聞いたりパタ

ンナーとして働くにはどんな事を学生時代に経験するべきか などを聞いて少しでも自分の進路実現に向けて行動していきたいと 思います。そして、

2年生の後期からは 本格的に自分の学びたい事を中心に 勉強していくので積極的に先生に質問をしたりいろいろなコンテストや行事に参加 したり したいと 思います。私 はどのくらい 自分自身の力だけで 出来るのか通用するのかを 確かめたいので厳しい道のりにはなると 思いますが 自分の夢を叶えるために 挑戦したいと 思います。

- ・物を作る際に出てしまう廃棄物を廃棄せずに、新たな使用方法を見つけ出し環境問題などに貢献したいです。

- ・昔から海外に憧れが強くあり、卒業後は海外に留学したいと考えています。今はまだまだ苦手なパターンですが、もっと習得して、モデリングなどの学校 AICPなどに行きたいと思っています。その為に服だけでなく、英語の勉強にも 力を入れたいと 思います。

- ・コンテストです。コンテストという一つのお客様が何を私達に求めているのか、これも一つの需要に対しての学びの機械です。そして求めている事ともう一つ驚きや、モノ本来の楽しさを届けられるように、前例に囚われすぎない事も大切だと思います。コンテストを通して私は、私と社会を繋ぐための勉強だと思っているので、コンテストに積極的に取り組んでいきます。

- ・宮城文化服装専門学校では2年生で1度卒業した後、3年生に入学するというシステムです。私は、3年生になったのち、就職したいと考えています。

3年生になったら、授業で作る作品の他に、自主的に自分でデザインしたものを作りたいです。自分で自分に課題を出すことによって自分の技術向上にも繋がるし、どこをどう縫うのかよりいい方法も考えられるようになるので、負荷をかけることにはなりますが、実力をもっと高めたいので頑張ります。またデザイン画も同様に1枚描いたら、そこから更に発展させてコレクションができるくらいの量を描きたいです。

私はデザイナーアシスタントになったのち、自身のブランドをもつのが夢です。まずアシスタントになって近くでデザイナーの仕事を選び、何をどうすれば服ができるのか、どうすれば売れるのかを考え、提案もできるような人になりたいです。服をいちから考え、作ることを学び自身のブランド作りに活かしたいです。

- ・進路で積極的に取り組むことは自分の長所を見つけ笑顔の絶えないアパレル店員になれるように日ごろから礼儀作法や敬語などの常識を身に着ける

- ・進路については就職希望先の業種が繊維専門商社となっておりますので無事に内定をいただけるように現在も継続的に就職活動中です。最終面接まで進んでいる企業も複数社ありますので企業分析、業界研究や面接練習など事前の準備を十分にして満足のいく結果が出るように取り組んでいきたいです。就職活動を通じて自身の語学力について見つめ直し、より実践的な会話力を身に付ける為に語学の勉強についても積極的に取り組んでいます。商社に就職した際には海外での出張、将来的には海外駐在も視野に入れているのでここでの学びを大切にしながら日々の生活を過ごしていきたいと考えています。

3. 当奨学金を受給しての感想

・学費面で困っていたところ当奨学金のおかげで少し余裕ができ、無事二年間通い続けることができた。服飾の専門学校に行きたいが学費の面などで悩んでいる人などがたくさんいる中このような制度は本当に助けになると思いました。

・奨学金を頂けたおかげで自身の作品に妥協せず生地やボタンを選ぶことができたと思います。アルバイトだけでは補えなかったところを補うことが出来ました。お金の負担が少し軽減される事で、より勉強に力を入れることが出来たと思います。そして、母の負担を減らすことができたので本当にありがたく感じています。一人暮らしでかかる費用や学校での材料費の出費が予想より多く困っていたところ給付金を頂けたのでとてもたすかりました。

・私は将来留学したいという思いが強く、その為学業はもちろんですがアルバイトにも積極的に取り組んでいました。しかし、アルバイトはもちろん時間にも余裕がなく課題などゆっくり向き合い考える時間はなくコンテストに出しても一次審査さえ通りませんでした。この奨学金を頂いてから心にあった切羽詰まったような気持ちに余裕が出て自身の経験や知識、アイデンティティに触れる時間が増えました。そこで時間に余裕ができ、心に余裕ができたことはその後大きくつながりました。自分は才能もなくファッション業界に入れるのか不安になり違う業界に行くことも考えました。しかし、心に余裕ができた頃通ったコンテストでの経験でまだファッション業界にいたい、ファッションをもっと学びたい、ファッションが大好きと改めて感じました。また、そこで出会えた仲間やそこで感じた自分の実力は私の宝であり自分への自信に繋がりました。

・奨学金の受給は私にとって大きな支えとなり、安定した学校生活を送ることが出来ました。学校生活が安定することで、勉学に励むことが出来、専門的な知識やスキルを深め、ファッションに関する理解をより一層深めることが出来ました。また、ファッション関連のイベント等に行く時間やお金を作ることも出来、業界の最新動向に常にアンテナを張ることが出来ました。無事に進路を決定することが出来たのも奨学金を受給出来たおかげだと思っております。これからも精進し学び続けながら、感謝の気持ちを忘れずに、社会貢献出来るよう努力していきます。

・このような奨学金制度があり、本当に助かりました。誠にありがとうございました。この奨学金をいただくに値する人材でいれますよう、今後とも精進して参ります。

・日本へいわ財団様の奨学金をいただく事が出来て本当に感謝しております。専門学校に通う前は正直、もしかしたら学費が払えなくなるかもしれないという不安がずっとありました。日本学生支援機構の貸与の奨学金もありますがそれだけではかなり厳しく海外への研修もあるのでどうしたらいいのか悩んでいましたが担任の先生から日本へいわ財団様の奨学金のお話を聞き、受給していただくことが出来ました。この奨学金をいただけたことで学費や交通費、授業で使用する道具や生地など本当にいろいろな場面で助けていただきました。また、奨学金を受給していただいているという意識を持って日々の学校生活を送る事が出来、もっともっといろいろな事を学びそれを自分のものに出来るよう

に努力をしようと思えました。自分の好きな事を学ぶために学校に通うためにはさまざまな場面でたくさんお金がかかります。私の家の経済状況は厳しく、母が日々生活をしていくために毎日朝早くから働いてくれています。このような状況で私は好きな事を出来るようにと学校に通わせてもらっています。それはあたりまえの事では無いと思っています。そしてこのように奨学金を受給していただけた事もあたりまえではありません。今回、このような特別な機会を作っていただけた事に感謝し、これからの学校生活も努力をし続けて自分の夢を叶えられるように頑張ります。

・研究したかった素材の実験や、新しいテキスタイルを制作することができ、奨学金を受給したことでしっかりと学びを得ることが出来ました。このように奨学金を受けることができたおかげで新たな発見や未来の可能性が広がると思います。学びたくても金銭面で困っている方も多くいて、私も学びたいと思っている人に手を差し伸べられるような人になりたいです。

・私の通う学校は課題や制作、発表の場が沢山あります。その中でお金のことを心配することなく制作に取り組みました。本当にありがとうございました。

・濃い経験ができました。今まででは、素材研究という一つのことだけに深くのめり込めたのは、この奨学金があったからでした。そして、現実的な資金力という問題で、私自身が様々な我慢をしていた事も知りました。

食費から、移動費、制作費、沢山の事を気にして、日々小さな我慢の連続だった事を学びました。そこから私は、自分のお金を使うべき場所と使う金額を再認識することができ、この奨学金がなければ、今も一つ一つの行動に我慢という事をしていたと思えました。今では使う用途を明確に使わなくてもいい部分を理解し、全てを我慢とって思っていました。基本的なお金の使い方をコントロールし、少しでも余裕を産む方法を考えられる様になりました。

・貴財団の奨学金制度のおかげで、夢への1歩に近づくことが出来ました。受給できたおかげで文化祭に行くことができ、私のなかのデザイン画に対する固い考え方が柔らかくなり、1年生の時より現在の方が楽しいし、発想力が全然違うと感じています。今の学校に通っていても、高校生の時よりはより正確に大胆に描けるようにはなっていると思っていたのですが、格段とレベルの高い本校に行くことによってもっと変わったと思っています。本校のファッションショーを動画サイトで見た時から私の人生は大きく変わったし、それをこの目で見ることによってより実力の差を感じたし、この作品たちを超えてみせるというやる気にも繋がりました。自分のデザインを、作品に仕立て上げるのが、まだかまだかと待ち遠しいです。また、新たな夢を見つけることが出来ました。それは、装苑賞に応募して装苑に掲載されることです。でかくすぎと言われてしまいそうなのですが、何事も挑戦するというのが私のポリシーなので、当たって砕けてもいいからやってみようと思います。1年生の時には、学校で必ずやるコンテストでは、1枚だけではなく、3・4枚は描くようにしました。2年生では、時間がないからとか理由をつけず5・6枚は描いてみようと思います。

3年生になりたいとは思っていたのですが、なかなか金銭面のほうで上手いかず、一時期

は諦めていましたが、両親からも背中を押してもらって進学が出来そうです。本当にチャンスを与えてくださりありがとうございました。この奨学金がなければ、文化祭にも行けていないし、新しい夢も見つけられてない、更に3年生への進学希望もありませんでした。より本気で学びたい私の気持ちに答えて下さり、とても嬉しかったです。貴財団の方々にも背中を押していただいているような気がして、不思議と気持ちが軽くなりました。これからも精進してまいりますので、何卒よろしく願いいたします。

- ・奨学金を受給して少しでも学費の足しになるように気を抜かずアルバイトや学校を努力しようという考えを得る事が出来た。

- ・この度、奨学金を受給いただいたこともあり大学での学びの継続や語学力の習得、就職活動に向けた準備など時間を有効活用することが出来ました。その成果の1つとして大学3年生の後期のGPAについては4.0（全ての科目がS評価）を達成しました。大学入学以来GPA4.0に到達したことがなかったので学びが成果として出たことを非常に嬉しく思います。大学入学以来継続中の皆勤賞についても継続させることが出来ました。本当にありがとうございました。

- ・奨学金を受給して学校に専念できるよう芸術鑑賞に行く事で新たなデザインや感性を磨く事が出来ました。

4. その他

- ・1年間ご支援頂きありがとうございました。生活費や学校での授業料に困っていたのが奨学金を頂けるとも助かりました。これからも頑張っていきたいと思っております。

- ・お金があることでこんなに自分にプラスになる経験ができるとは思っていませんでした。奨学金で支えて頂いた期間全てが自分の経験への背中を押してくれました。本当にありがとうございました。

- ・私は卒業制作でECサイトを制作しました。制作にあたり、モデルの手配や衣装の準備、撮影場所のロケーションまで、一連の流れを全て自分で手掛けました。衣装の準備では、プロジェクトのテーマ性と調和させることが求められたので、ファッションのセンスやトレンドを考慮しつつ、デザインの一貫性を保ち、商品を魅力的にアピールできるよう工夫しました。撮影場所のロケーションにおいては、独自のアイデンティティを求めながらも、ターゲット層に訴えかける雰囲気や背景を考慮し、プロフェッショナリズムを追求しました。現場でのトラブルや課題にも柔軟に対応しながら、臨機応変な対応が必要でした。また、実際の撮影では、モデルやスタッフとの連携が重要で、円滑な進行を図りつつもクオリティを維持することが求められました。どれも大変ではありましたが、自分の手で一つのプロジェクトを成功に導けたことで、自信と達成感が生まれました。この制作を通じて学んだ経験は、将来のキャリアにおいても大いに活かせるものであり、自分のアイデアやビジョンを具現化するスキルを身につける貴重な機会でした。今後もこれらの経験を糧にし、更なる成長を遂げ、ファッション業界での活躍に繋げていきたいと思っております。

・この度は奨学金を受給していただき本当にありがとうございました。学費や交通費、教科書、道具にかかる費用などいろいろなものに使わせていただきました。1年間本当に新しく学ぶ事や今まで知らなかった事が多く、毎日が目まぐるしくすぎていきました。時には私には向いていないのかもしれない、間違っただ道に進んでしまったのではないかと思う事もありました。しかし毎日いろいろな事を経験していく中で新しく出来るようになったことがあったり、自分で調べて挑戦する事ができたり自分の中で少しずつですが自信が持てるようになりました。また、一緒に頑張る友人がいてくれたお陰で共に協力し努力し合ってお互いを高め合う事が出来ました。今年は2年生になりまた昨年とは違った大変さや悩みをたくさん経験すると思います。くじけてもう本当に何もかもが嫌になってしまう事もあると思います。でもそんな時こそ一旦立ち止まり、リセットして頑張っって遅れた分を取り戻す事が出来たらまた前に進めると思うので自分なりの進み方で努力していきたいと思います。そして今回このような機会を作ってくださった日本へいわ財団様に深く感謝しこれからの学校生活も頑張ります。本当にありがとうございました。

・奨学生に選んでいただき本当にありがとうございました。これからも制作や勉強などに励んでいきます。いつか、自分もこのような素晴らしい取り組みに貢献できるように頑張ります。1年間お世話になりました。

・学校で先生に紹介されたのが、貴財団との出会いでした。最初は、自分なんか貰えるわけないと暗い気持ちで、挑戦していました。ですが1次審査を通過させていただいた時、自分にももしかしたらチャンスがあるのかもしれない、もしかしたらと前向きな気持ちになりました。作文を書かせていただいた際、私が今思っていること・考えて感じていることをぶつけてみようと思い、全力で書きました。書いた内容を実現させるには簡単にはいかないし、壁にぶつかることは分かっているようなものだと思いますが、挑戦してみたいと自分で思っています。会う人全員に無理だと否定されるかもしれない、馬鹿にされるかもしれない、けど誰か1人でも興味を持って肯定してくれるなら可能性は格段とあがるし、諦めないでやりたいともっと思えてくると思います。そんな夢のお手伝いをしてもらえたと私は感じています。否定せず、少しでも私の想いに興味をもってくださったことがとても嬉しいです。選んでいただけたからには、全力で何事にもチャレンジすることを辞めないように頑張ります。何度も同じようなことを言うのですが、本校の文化祭に行けて本当に良かったです。何回も言いたいぐらい、この世界に飛び込んでみてよかったと思える体験でした。行く前の私はデザイン画に対して考えすぎて、嫌になって全部投げ出そうとしましたが、現在は、描く時に歌ってしまうぐらい、毎回楽しく描いています。深く考えすぎず、リラックスして描くのが1番大事と気づくことが出来ました。最後に、今回は奨学生に選んでいただき、本当にありがとうございました。よりこの世界が楽しく感じるようになりました。今年も挑戦しようと考えています。よりレベルアップした私をみていただけたら幸いです

・この度は奨学生として選出をしていただきありがとうございました。皆様からいただいた

奨学金のおかげで現在も継続的に大学に通い学ぶことが出来ています。入学当初と比較をしても語学力やファッションに関する知識やプレゼンテーション力、分析力についても十分に身に付けることが出来てその経験から就職活動についても自信を持って挑戦することが出来ています。進路については就職を希望しており繊維専門商社のみ業種を絞って就職活動に取り組んでいるので無事に内定をいただけるよう取り組んでいきます。そして就職後には海外での出張や海外駐在などを通じてグローバル化を自分自身で実現させていきたいです。大学生活についても残り1年となりましたので学びを継続出来ることに感謝の気持ちを忘れずに日々成長をしていきます。
本当にありがとうございました。

以上のとおり、報告致します。

.

以上